第６回タクシー事業適正化・活性化協議会

平成２５年２月１４日１３時３０分～
北海道運輸局北見運輸支局２階大会議室

１．開会

・設置要綱に基づき、構成員１５名中１３名の出席を以て協議会の成立を宣言

・委員異動の報告
北海道北見方面北見警察署　地域交通課統括官　森幸春氏　→
課長代理　元嶋尚氏
北見市ハイヤー組合　理事長　末松秀之氏　→　平子雅教氏
北見市ハイヤー組合　理事　平子雅教氏　→　木下幸二氏
北見個人タクシー協同組合　理事長　木戸口則幸氏　→　與羽正治氏
北見タクシー労働組合　執行委員長　山川尚之氏　→　井林清孝氏
北見運輸支局長　西原英二氏　→　福田昇氏

・会長挨拶（運輸支局　福田）
　適正化・活性化法において、北見交通圏が特定地域として１０月１日に再指定された。引き続き、北見交通圏におけるタクシー事業の適正化・活性化について忌憚の無い意見をお願いしたい。
　座長には北見工大の高橋教授、事務局長には北見市ハイヤー組合の土田事務長を指名する。

・座長挨拶（北見工大　高橋）
　年に数回の会議だが、とても大事な会議だと考えている。是非忌憚の無い意見を頂き、これからのタクシー事業の適正化・活性化に向けて少しでも一歩でも前に進むような議論をみなさんとしていければと思う。

２．議題

（１）特定地域の再指定について

北見交通圏がタクシー適正化・活性化法の特定地域の再指定を受けた。
期間　平成２４年１０月１日　～　平成２７年９月３０日まで

（２）協議会設置要綱一部改正について

特定地域の再指定を受けて、要綱の改正（第５条４、同条７、附則の追加）
→　異議無く承認

（３）特定事業計画の進捗状況等について

１．特定事業計画認定申請・認定状況

【事務局（徳田）】

○認定事業者（個人タクシー）において、廃業のため１事業者減。

○基準車両数からの減車率は１０.５％、タクシー特措法施行日前日からの減車率は１１％となっている。

○特定事業の認定状況は変化なし。

○輸送実績の推移

・平成２３年の実績をみると前年比で実働率が０.１％、実車率も１.２％上がっているので、減車の効果かと思われる。

・総車両数については、平成２４年４月に１両の減車で現在１７１両となっており、地域計画が定める適正車両数上限の１６４両に迫ってきている。

・交通圏全体での営業収入については、上期において前年を上回っている月が多く見られたが、通期では前年比０．２％減となっている。

・昨年比で営業収入が下がっているが、実働日車当たり営業収入が上がっている。

・年々、実車率が増えており、減車によって効率的に運行が行われているものと思われる。

【髙橋座長】

データでは、減車することによって実車率が上がり、それに伴って一車当たり営業収入が上がっている。これはまさに、減車することによる一番の狙いというものが、こういう形ででてきていると思う。２２年から２３年は２０台ほど減車しているので、一車あたりの営業収入が上がるのはわかるが、２３年から２４年には１台の減車にも関わらず、全体的に上がっているのは、事業者の努力の成果が見て取れます。実際に、事業者の皆さんに具体的に減車して、どう変わったのか、どのような問題点が出てきたのかお聞きしたい。

【北見市ハイヤー組合　平子委員】

経営者の観点から話をさせていただくと、データのあるとおり一つの目的である労働条件・賃金の改善という点に関しては改善しているだろうなと思うが、事業者側としては、運送収入そのものが右肩上がりで改善してはおりません。固定費としてかかる人件費や、４月から値上がりする自賠責保険料、円安による燃料価格の上昇、消費税増税など今後も心配される費用負担が多くあり、会社の利益が増える訳ではなく、今後の見通しとしても大きく改善されていくとは考えがたい。

昨年タクシー１００周年ということで、タクシー業界で活性化のイベント

を行うなど明るい話題があった。また、昨年末、交通基本法（仮称）の成立の一歩手前の認識でいたが、政権交代により交通政策基本法（仮称）となり、趣旨の変更や法案の優先順位も下がっていったように聞いている。業界として方向性を注視している。せっかく再規制の流れにきていたが、規制緩和の方向に向かっていくのではないかと心配している。

後ほどの議題にも上がっているが、観光の面では、法人事業者と個人事業者の観光に関わるドライバーの教育指導を通して、活性化の起爆剤にならないかと考えている。

正直、これ以上の減車に関しては、北見交通圏では限界を感じている。自主的な努力によって１０％超の減車を行ってきたが、事業者として、適正化の観点からの減車は難しいと思っている。

あとは、活性化の観点から需要が喚起されることを期待して取組を行っていきたい。

【高橋座長】

確かにこれ以上、総収入が減るのはまずい。減車すると総収入が減るので１５９両から１６４両の範囲を適正車両数のターゲットとして減車をしていたが、なかなか難しいのではないかという感想は私にもある。

【北見市ハイヤー組合　松田委員】

事業者としては、平子委員の言ったことと同意見だが、乗務員に対しての賃金の改善があったことはよかったと思う。会社として、総収入が上がらないことには厳しい部分がある。

【高橋座長】

これで景気が良くなればまた変わってくると思うが、こればっかりは見通しができないので、なにかしていくしかありませんね。

【北見市ハイヤー組合　木下委員】

昨年の１２月の売り上げは、その前年より落ちている。その理由としては、大雪や路面状況が悪く、運転手さんが苦労して気をつけて走ったためである。また、１月にはインフルエンザにかかった運転手がいて、稼働できない車があった。

【株式会社石川観光　石川委員】

確かに１車あたりの営業収入は上がっているが、輸送人員と売り上げは確実に右肩下がりで来ているし、今後もこの傾向は変わらない。いつ改善されるのかは見えないし、改善されないのではと私は思う。後のアンケートの結果を見ると、すぐに利用の増加が見込めるような状況ではないと思う。消費税が増税されたら、どうなるのか不安である。料金の改定も必要かもしれない。家族の送迎による影響は、相当大きいと思う。１２月の金曜日・土曜日は、家族の忘年会の送迎のために国道が一般車両で混んでいて、走りにくいことになっている。

【高橋座長】

私の大学でも、１月にセンター試験があったが大学の前は大渋滞になって

いた。家族の親心もわかるが、あの渋滞を見ると高校入試でも同じようなことがおきているのではないかと思うので、そのあたりを長い時間をかけて考えていく必要もあると思う。みなさんのお話を聞いているとターゲットまではたどり着いてはいないが、これ以上の減車は難しいのではないかと思う。北見交通圏としては、適正化よりも活性化の方に少し重点をおいて、アクションを考えていくのが重要であると思う。

（４）適正化・活性化分科会及び観光部会の報告について

【事務局（鈴木）】

・分科会で行った「タクシー利用者アンケート」、「タクシー乗務員、管理者（乗務員、役員以外）、役員」の調査結果及び検討事項を報告

【株式会社北見タクシー　平子委員】

〇観光部会からの報告

・特定事業として認定されている「観光に係るドライバー教育及び指導」として、北見観光協会の高橋事務局長に乗務員のみを対象とした観光講習会を数回にわたって行っていただいた。観光を一つの活性化の起爆剤にならないかということで始めたもの。

・厳寒の焼き肉祭りの会場に臨時のタクシー乗り場を設置（利用者利便の向上のため）

・「勝手ランキング」（各社乗務員にアンケートを行い、おすすめのラーメン屋・焼き肉屋・スイーツ店・お土産店を調査しランキングしたもの）を作成し、乗務員に共有してもらう。

・市内イベントの「はしごｄｅラリー」（繁華街の飲食店をスタンプラリーで回るもの）の会場設営・撤収の手伝い。

・タクシー内のヘッドレストに北見市のイベントの告知広告を掲載。

これらは、観光協会の協力を得ながら行っている。実際どれだけ効果が上がっているか判断するのは難しいが、今後も継続して行きたいと思っている。

【北見観光協会　髙橋委員】

HP での情報提供も必要であるが、これからはタブレット端末やスマートフォンに対応した情報提供が必要だと思う。いまは、モバイル端末を持ち運んでいる人が多いので、車の中で充電ができるようになればいいと思う。北見から女満別空港の区間だけでも定額運賃にしてはどうか。本屋や大型スーパーへ行くために半径５キロ以内の定額運賃はどうか。受験生に対するタクシー定額はどうだろうか。

【高橋座長】

様々な意見ありがとうございました。データに関しては、今後再度じっくり確認していきたいと思う。

（５）今後の適正化・活性化対策について

【事務局（鈴木）】

・エコドライブ体験講習会の開催について

ＪＡＦ北見支部の協力のもと、エコドライブを体験し乗務員の指導教育に活用することにより、エコドライブ・安全運行の推進を図る。

開催日：平成２５年７月２８日

対象　：ハイヤー・タクシー事業管理者

会場　：北見運転免許試験場

【髙橋座長】

適正化に関しては、ある程度進んでいると思う。単価を上げるよりもタクシー業界として、全体の利用の底上げをしていくために何をするか考えていく必要があると思う。アンケートにも意見が多くあった「料金」に対して、様々な制約・規制があり、できることやできないこともあるが、検討する必要があると思う。たとえば、意見にもあった空港までの定額運賃に対してどう考えるか、利用者のタクシー料金に対しての考え方についても検討する必要があると思っている。札幌では、車内に自家用車を所有することでかかる費用を掲示している会社もある。利用者の意識を変えていく活動も必要かと思う。また、協議会の場があるので協調と競争を行う必要があると思う。HP などは、各会社でおのおの作成するのではなく、一元的に作成できれば、費用の削減にもなるし利用者にとっても便利だと思うので、協調の部分を検討していく必要があるのでは。今後は、特に活性化に重点をおいて活動していくべきだと思う。

（５）その他

【事務局（土田）】

本日の協議会での発言は議事録としてまとめさせて頂く。委員の皆様には内容を照会させて頂く。

また、次回の協議会は平成２５年１２月以降を予定している。詳しくは改めて連絡する。

３．閉会